2013年4月18日

各　　位

会 社 名　アドソル日進株式会社
代表者名　代表取締役社長　上田　富三
（ＪＡＳＤＡＱ・コード３８３７）
問い合せ先　取締役総務部長　三重野　裕彦
電話番号　０３－５７９６－３１３１

中期経営計画策定のお知らせ
～ 新たな成長に向けた中期3ヵ年計画（2014/3期-2016/3期）～

当社は、「高付加価値サービスの創造・提供を通じて お客様の満足と豊かな社会の発展に貢献する」という企業理念に基づき、次の成長ステージに向けた“きらりと光るICT企業”を目指し、新中期経営計画を策定しましたので、お知らせ致します。

記

1. 当社の強み

当社は1976年の創業来、社会インフラのシステム構築を数多く手掛け、エネルギー・鉄道・航空・道路・通信・金融等における国内屈指のICT企業としての基盤を構築してまいりました。

コンサルティングから開発・保守に至る一貫したワンストップ・ソリューションの提供と、技術的にはセンサ・ネットワークからモバイル端末・キャリア通信・クラウドコンピューティング・基幹システムのビッグデータ対応までのワンストップ・ソリューションが提供できる大きな強みと、80名に及ぶPMP人材を活用したプロジェクト管理に強みを持っております。

2. 市場環境認識

高度成長期に急速に拡大した日本の社会インフラは、今後その更新需要を迎え、防災や医療・介護にも配慮した安全・安心・快適・エコを提供するシステム構築のニーズは拡大してまいります。

特にエネルギー分野では、電力の自由化・発送電分離・省エネに伴うエネルギー・マネジメント・システムを含め、スマートグリッド対応へのニーズは当社のコア技術を活かす分野であり、今後のビジネス拡大に大きなチャンスがあるものと考えております。

3.戦略ポイント：

新中期経営計画では、当社のコア事業領域を広義の社会インフラ分野（ビジネス・金融を含む）と位置付け、3年後の2016年3月期には売上高100億円、営業利益5億円(営業利益率5%)の過去最高売上高と営業利益を達成することにより、ROE 10%以上を目指します。

組織面では、社会システム事業部を設置し、ユビキタス・ソリューションとの連携を強化し、産業横断的にソリューション提案を推進します。

又、当社独自の分散型開発ツール「AdsolDP」を活用し、オフショア・ニアショア開発による高品質・低コストな開発体制に加え、外部企業との戦略的アライアンス等による動員力を向上し、旺盛な需要を取込みます。

尚、今回の中期経営計画の重点施策を鑑み、2014 年 3 月期より、下記の通りセグメント区分を変更します。

前期まで		
ビジネス	エンジニアリング	ユビキタス
・金融	・通信	・組込み
・インフォメーション	・制御	・ユビキタス

当期以降 2013/4～		
社会システム	ユビキタス	金融システム
・ビジネス（システム）	・組込み	・金融
・通信（インフラシステム）	・ユビキタス	
・制御（インフラシステム）		

4．事業別戦略

■ 社会システム事業：

・エネルギー・鉄道・航空・次世代通信・プラント・地理情報・モバイル等の社会システムを、情報系・制御監視系、事業者・利用者等の各側面からのニーズに、総合的なソリューションの提供を促進します。

・ビジネス分野においては、社会インフラ企業の基幹システム対応業務の拡大を図り、通信分野においては、次世代通信の技術強化により新たな開発需要の取込みを促進し、制御分野においては、航空・鉄道等のライフライン（社会基盤）システム構築の強みを活かして事業領域の拡大を目指します。

・ユビキタス・ソリューションとの融合・連携を強めて、コンサルティングからクラウド対応・スマート対応・ビッグデータ対応までのワンストップ・ソリューションの提供を促進します。

■ ユビキタス事業：

・組込み分野においては、OS（カーネル※）技術をベースとして、当社ノウハウの融合を図りビジネス領域の拡大を図ります。

・ユビキタス分野においては、当社戦略コア技術（ZigBee※, PLC※, RFID※,センサ・ネットワーク技術）と当社ノウハウをもとに、エネルギー・環境・医療・介護・xEMS 等※各分野での共同開発や省エネ対応・新ビジネスモデルの創出・構築を支援するスマート・ソリューションの提供を強化します。

■ 金融システム事業：

・当社コア技術により新たなトレンドに対応すると共に、競争優位の発揮で収益基盤を強化します。

・新たなオープン系の金融ネットワークシステム（ネットバンキング等）の対応促進と、次世代営業店システムの強化、信販カードへの対応領域拡大を図ります。

・対応ハードウェア・メーカの拡大により市場シェアを高めます。

※カーネルは、OS の中核として基本機能を実装し、アプリケーションとハードウェア(メモリ、CPU、周辺機器)の監視・管理・処理を行います。
カーネル開発は、最も高い性能を要求されるプログラム開発です。

※ZigBee（無線通信）は、自由空間での通信方式です。

※PLC（電力線通信）は、無線通信の障害物（ドア、壁、床等）を超える通信方式です。

※RFID（通信タグ）は、セキュリティ、トレーサビリティに最適なデジタル通信方式です。

※ｘEMS（エネルギー・マネジメント・システム）は、IT を活用した電力やガス等のエネルギー管理システムです。

５．数値計画

1）経営数値目標

（単位：百万円）	2013年3月期（予想）		2016年3月期 計画
売上高	8,084		10,000
営業利益	212		500
経常利益	207		495
当期純利益	114		297
１株当たり純利益（円）	81.1		212.0
営業利益率　（%）	2.6%		5.0%
配当金（配当性向%）	25円（30.8%予）		64円(30.2%予)

＊配当計画：年２回（中間・期末）

2)セグメント別売上目標

（単位：百万円）	2013年3月期（予想）		2016年3月期 計画
社会システム事業	4,743		6,080
ビジネス	2,549		3,100
通信	572		580
制御	1,621		2,400
ユビキタス事業	1,565		1,920
組込み	1,179		1,470
ユビキタス	386		450
金融システム事業	1,775		2,000
合　計	8,084		10,000

＊2013年4月1日より、セグメントの表記を変更しています。

以　上